

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月4日

上場会社名 コムシード株式会社
 コード番号 3739 URL <http://www.commseed.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂入 万弘
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部ゼネラルマネージャー (氏名) 小倉 誠
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日 配当支払開始予定日 未定

上場取引所 名

TEL 03-5217-5814

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	928	—	18	—	18	—	20	—
21年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	555.39	—
21年3月期第3四半期	—	—

(注)21年3月期第3四半期につきましては、連結として開示したため、21年3月期第3四半期は記載していません。

(注)22年3月期第3四半期の潜在株調整後1株当たり四半期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	819	572	69.8	15,328.20
21年3月期	856	551	64.4	14,772.81

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 572百万円 21年3月期 551百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,300	4.2	65	26.7	63	23.1	55	△80.3	1,473.19

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	37,500株	21年3月期	37,500株
---------------------	-------------	---------	--------	---------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	166株	21年3月期	166株
-----------	-------------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	37,334株	21年3月期第3四半期	37,334株
--------------------	-------------	---------	-------------	---------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 当期の配当予想は現時点では未定であり、今後の業績等を総合的に勘案し配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに行う予定です。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間におけるわが国経済は、個人消費の一部で持ち直しの動きが続いているものの、企業収益の大幅な減少や雇用情勢の一段の悪化、さらに世界景気の一層の下振れ懸念などから、依然として景気は先行き不透明な厳しい状況で推移いたしました。

モバイルビジネスを取り巻く環境といたしましては、国内における携帯電話の契約数が緩やかな伸びに落ち着くなか、第3世代携帯電話等の高速データ通信が可能な端末の台数は10,644万台（前年同期比10.4%増）と二桁増を維持しております。一方、パチンコ業界を取り巻く環境につきましては、遊技人口の減少に加え、遊技機規則改正以降、パチンコ店舗数が減少を続けていることもあり、未だ厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は持続的な成長と更なる企業収益力の基盤強化に向け、きめ細かな経費管理を徹底するとともに、モバイル事業の一層の強化に取り組んでまいりました。

当社オリジナルサイトのパチンコ・パチスロ総合情報サイトである「パチンコ倶楽部」では、みんなで作るパチンコ・パチスロ情報サイト「WIKIRE(ウィキレ)」との連携を強化し、サービス間シナジーの最大化を目指すとともに、ブログ記事等から機種に関連した情報を検索する機能を追加するなど、サービスを拡充しリニューアルオープンいたしました。メーカーオフィシャルサイトでは、パチンコ・パチスロの新機種導入時に人気の携帯アプリを早期に配信した他、オリジナル商品の投入、各種イベントの開催など、引き続きサービスの拡充に取り組みました。また、全国約4,000店のパチンコ・パチスロ店舗を対象に人材紹介やコンサルティング事業等を行う株式会社パック・エックスとの業務・資本提携のもと、共同でアルバイト情報サイト「パチバイ」の企画・制作を行い、サービスを開始しております。さらに、パチンコ・パチスロメーカーの株式会社オリンピアの協力により、同社の人気スロットゲームである「南国育ち」を忠実に再現したニンテンドーDS用ゲームソフト「南国育ちDS」を開発し、販売を開始いたしました。

当第3四半期会計期間より「パチンコ・パチスロ」に続く新たなサービスを育成するため新規サイトを投入しております。「宇宙戦艦ヤマト・復活篇」の映像制作を行う株式会社エナジオが主催する「宇宙戦艦ヤマトオフィシャル コミュニティ ヤマトクルー モバイル」を共同で企画・制作し、劇場公開に合わせサイトをオープンいたしました。また、PCゲームソフト開発を行う株式会社ミノリの人気恋愛ゲーム「eden*」の携帯サイトを同社の協力により企画・制作し、プレサイトをオープンしております。その後、当サイトは平成22年1月25日より携帯公式サイトとして配信を開始いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は928,013千円（前年同期比3.5%増）、営業利益は18,771千円（前年同期比122.2%増）、経常利益は18,449千円（前年同期比120.9%増）となりました。

また、四半期純利益につきましては投資有価証券売却益2,492千円の計上により20,734千円（前年同期比91.2%減）となりました。

（注）当第3四半期決算短信において比較、分析に用いた当第3四半期累計期間に対応する前年同四半期累計期間の数値は、独立監査法人による四半期レビューを受けていないため、前年同四半期増減率は参考として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて37,055千円減少し、819,730千円となりました。

これは主として流動資産の減少110,892千円、有形固定資産の減少8,068千円、無形固定資産の減少17,988千円と投資その他の資産の増加99,894千円によるものです。

負債は、前事業年度末に比べて57,790千円減少し、247,467千円となりました。これは流動負債の減少49,156千円と固定負債の減少8,633千円によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べて20,734千円増加し、572,263千円となりました。これは四半期純利益により、利益剰余金が増加したものであります。この結果、自己資本比率は前事業年度末の64.4%から69.8%に上昇しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ67,344千円減少し、当第3四半期会計期間末には299,651千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は54,312千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益20,941千円、減価償却費44,388千円、売上債権の減少38,222千円により資金が増加したものの、棚卸資産の増加5,313千円、仕入債務の減少41,106千円により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は112,059千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出12,031千円、投資有価証券の取得による支出28,032千円、長期前払費用の取得による支出71,764千円により資金が減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は9,598千円となりました。これはリース債務の返済による支出により資金が減少したことによります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当事業年度の業績予想につきましては、平成21年5月13日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

(棚卸資産の評価方法)

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実施棚卸を省略し、前会計年度末の実施棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、当事業年度にかかる減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	299,651	366,996
売掛金	293,447	331,670
商品及び製品	8,582	8,339
原材料及び貯蔵品	8,229	3,159
その他	12,766	23,407
貸倒引当金	△16	△18
流動資産合計	622,661	733,554
固定資産		
有形固定資産	23,138	31,206
無形固定資産	23,667	41,655
投資その他の資産	150,263	50,369
固定資産合計	197,068	123,231
資産合計	819,730	856,785
負債の部		
流動負債		
買掛金	167,270	208,377
未払法人税等	709	1,948
その他	36,451	43,262
流動負債合計	204,431	253,588
固定負債		
退職給付引当金	15,160	15,309
役員退職慰労引当金	19,329	19,329
その他	8,546	17,030
固定負債合計	43,036	51,669
負債合計	247,467	305,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	568,883	663,000
資本剰余金	—	648,500
利益剰余金	20,734	△742,616
自己株式	△17,355	△17,355
株主資本合計	572,263	551,528
純資産合計	572,263	551,528
負債純資産合計	819,730	856,785

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	928,013
売上原価	596,126
売上総利益	331,887
販売費及び一般管理費	313,116
営業利益	18,771
営業外収益	
受取利息	221
その他	174
営業外収益合計	395
営業外費用	
支払利息	717
営業外費用合計	717
経常利益	18,449
特別利益	
投資有価証券売却益	2,492
特別利益合計	2,492
税引前四半期純利益	20,941
法人税、住民税及び事業税	206
法人税等合計	206
四半期純利益	20,734

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	20,941
減価償却費	44,388
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,492
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△149
受取利息及び受取配当金	△221
支払利息	717
売上債権の増減額 (△は増加)	38,222
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,313
仕入債務の増減額 (△は減少)	△41,106
その他	721
小計	55,709
利息及び配当金の受取額	221
利息の支払額	△717
法人税等の支払額	△900
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,312
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,625
無形固定資産の取得による支出	△12,031
出資金の払込による支出	△100
長期前払費用の取得による支出	△71,764
投資有価証券の取得による支出	△28,032
投資有価証券の売却による収入	2,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112,059
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△9,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,598
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△67,344
現金及び現金同等物の期首残高	366,996
現金及び現金同等物の四半期末残高	299,651

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年6月24日開催の定時株主総会決議により、欠損補填を目的に資本金の額663,000千円のうち94,116千円と資本準備金の額648,500千円の全額を減少させ、その他資本剰余金に振替えるとともに、利益準備金の額892千円の全額を減少させ繰越利益剰余金に振替えました。そして、振替え後のその他資本剰余金の額742,616千円の全額を繰越利益剰余金に振替えております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) 第3四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		百分比 (%)
	金額 (千円)		
I 売上高		897,064	100.0
II 売上原価		542,838	60.5
売上総利益		354,226	39.5
III 販売費及び一般管理費		346,339	38.6
営業利益		7,886	0.9
IV 営業外収益			
1. 受取利息	839		
2. その他	657	1,497	
V 営業外費用			
1. 支払利息	1,159		
2. 為替差損	12,737		
3. その他	1,604	15,501	
経常損失(△)		△ 6,117	△0.7
VI 特別利益			
1. 固定資産売却益	3,500		
2. ライセンス契約解約益	95,883		
3. 事業譲渡益	25,000		
4. 事業整理損失引当金戻入額	17,020	141,403	
VII 特別損失			
1. 投資有価証券評価損	7,234	7,234	
税金等調整前四半期純利益		128,052	14.3
法人税、住民税及び事業税		990	
四半期純利益		127,061	14.2

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	128,052
減価償却費	56,674
為替差損益(△は益)	12,737
ライセンス契約解約益	△95,883
事業整理損失引当金戻入額	△17,020
投資有価証券評価損益(△は益)	7,234
固定資産売却損益(△は減少)	△3,500
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,271
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	△79,479
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△973
受取利息及び受取配当金	△839
支払利息	1,159
売上債権の増減額(△は増加)	8,524
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,989
仕入債務の増減額(△は減少)	9,838
その他	13,419
小計	41,661
利息及び配当金の受取額	839
利息の支払額	△1,159
法人税等の支払額	△1,143
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,198
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
無形固定資産の取得による支出	△16,636
投資有価証券の取得による支出	△50
敷金及び保証金の回収による収入	55,537
投資活動によるキャッシュ・フロー	38,851
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△10,534
社債の償還による支出	△500,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△510,534
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,969
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△435,453
VI 現金及び現金同等物の期首残高	767,433
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	331,980

6. その他の情報

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注状況

該当事項はありません。

(3) 販売実績

前第3四半期会計期間及び当第3四半期会計期間の実績は、次のとおりであります。

なお、当第3四半期会計期間に対応する前年同四半期会計期間の数値は、独立監査法人による四半期レビューを受けていないため、参考として記載しております。

前第3四半期会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
320,779千円	301,454千円

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当第3四半期会計期間の主要な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	163,830	51.1	159,848	53.0
KDDI株式会社	72,567	22.6	71,588	23.8
ソフトバンクモバイル株式会社	39,275	12.2	42,624	14.1